

左京東部 いきいき通信

Vol. 7
January.2017

発行：左京東部いきいき市民活動センター
発行日：平成29年1月1日

REPORT

さきよーら
冬の文化祭
開催!!



「さきよーら 冬の文化祭」

平成28年12月3日(土)

出演：

吉の会(琴)
くるたに幼稚園コーラス部(合唱)
ムロタムラ(お笑いダンスユニット)
ゴールドスター(太極拳)
ロスホコス(ダンス)
瓜生山オーバートーン・アンサンブル(倍音)
オラポポ-orapopo-(直感でダンスを創造するなかまたち)
京大ジャズ研 OFF-BEAT(楽器演奏)
bonchi sax(楽器演奏)
わだことサンボーヨシ(音頭バンド)

松尾芭蕉の有名な句にもありますが「秋深き隣は何をする人ぞ・・・？」といった具合に、日頃は練習で部屋に籠ってしまったりお互いに声や楽器の音は聞こえても何をしているのかわからないもの。そこで当センター利用者さんの発表＆交流の場として、「さきよーら冬の文化祭」を開催いたしました。

当日は子どもから高齢者の方まで実に多世代の方に観に来ていただきました。何度もステージ経験がある団体さんもあり、心地よい熱気に包まれた会場では、各団体10分ずつでしたがバラエティ豊かなステージが繰り広げられました。

最後の音頭バンド「サンボーヨシ」の演奏では、その場にいた人全員で輪になって江州音頭を踊り、和やかな雰囲気です。「冬の文化祭」は終了いたしました。

日頃の練習の成果発表＆交流という目的のこのイベントですが、ここで生まれた関係が今度は別の場所で、例えば地域楽団(オーケストラ)のような形で一緒に活動するきっかけになれば・・・という目的もあり「左京区+オーケストラ+さきよーら」という名前をつけました。終演後、実際に色々と交流される中で、次につながるお話が出ていたようです。また違う形で今日の出演者さんに出会える日を楽しみに待ちたいと思います。



INFORMATION

左京3いききセン合同 全国学生演劇祭応援週間

2017年2月24日～27日、札幌、東北、東京、名古屋、京都、大阪、四国、福岡、そして中国地方での賞レースを勝ち抜いてきた学生劇団10組が京都に集結し、日本一を競う演劇の祭典である『全国学生演劇祭』が開催されます。舞台となるのは、左京区内にリニューアルオープンしたロームシアター京都。国内外のアーティストが演劇、コンサートなどを行う文化芸術の拠点に、日本中の若き才能が集います。その演劇祭の開催に際して、会場と同じ左京区にある3つのいきいき市民活動センターが協力し合い“左京3いききセン合同 全国学生演劇祭応援週間”という事業を行います。日本各地から集まる劇団のワークショップや公開稽古、また京都の演劇の歴史をのぞき見ることができる展示も実施します。日本各地の若者と時間を共有し、演劇の歴史を辿ってみませんか？



REPORT

京都おさんぽコレクション 「思い出のまちめぐり 錦林～醍醐」

左京東部いききをスタートして、醍醐いききにゴールするウォーキング事業が10月15日好天の中行われました。参加いただいた15名の方の多くは70才以上の高齢者の方でしたが、約6キロの道のりを元気に歩かれました。今回のまち歩きの特徴は、南禅寺や醍醐寺といった名所・旧跡を巡るだけでなく、その土地で育った高齢者の方に、場所にまつわる思い出を伺いながら、当時の様子や

生活などを想像してみるというものです。そうした思い出をパネルにまとめて展示する『まちの思い出展示会』も併催しました。

思い出だけでなく、まちの歴史や旧跡の説明など、各所にミニ知識の解説を挟んだり、思い出を語っていただいた方に、趣味の詩吟を披露していただくなど、体だけでなく脳や感性も刺激する催しを目指しました。参加された方からは「良いお話を聞かせていただいた」などといった声も聞かれました。「今回の体験談などは、もっと若い方にも聞いて欲しかった」という声もあり、やっぱり若い人にも来て欲しかった！



REPORT

まちの思い出展示会

11月5日(土)～20日(日)に当センターで実施された『まちの思い出展示会』が、無事終了しました。昨年に引き続き今年度も、錦林・醍醐地域にお住いのシニア世代の方々から、地域の思い出を拝聴しました。歴史資料として残されている「公の歴史」とは違う、その時代を生きた方による個人の思い出を「生の声」で集めることができました。昭和初期の生活の様子や遊びの内容、戦争の体験談、景色、交通、災害の様子など、年表のみ

からは計り知ることのできない様々なお話をお聞きしました。

今回、思い出を語ってくださった中の何人かは、今秋行われたウォーキングイベント「おさんぽコレクション」の錦林～醍醐コースでも、参加者の方たちの前で思い出を話してくださいました。参加者の中には語り手と同世代の方もおられ、強く共感された方や、互いの体験を語り合う場面も見られました。展示会終了後も、展示された写真とお話をまとめた冊子「わたしの昭和思い出マップ2016」を配布しております。内容が気になる方は、ぜひ左京東部いきいき市民活動センター事務室にてお求めください。



COLUMN

センター長のいきいきコラム

楽しい交流のすすめ

センター長 杉山準

当センターでは老若男女、外国人、障がいを持つ人など多様な人が集まりそして交流できることを大切にしています。実施する事業も、そうした交流の機会が生まれることを意図して行っています。事業で芸術や文化を絡める利点は、いろいろな方々が集いやすく、楽しむことで自然と心が開ける点にあります。夏に行った盆踊りを始め、この冬に実施した「さきょう冬の文化祭」などもまさにそうした機会になればいいなと思っています。

人と人が出会い、例えば音楽や踊りなどを通じて、すこし相手に心をひらくことができれば、互いを受け入れることや理解することにつながるような気がします。知らないことによる「思い込み」や「偏見」も和らぐと思います。

また、高齢者に昔の思い出を聞く事業も行っていますが、聞き手をつとめる若い世代が肯定的に聞き取りを行おうとすることで、その方が歩んで来られた人生に対する尊敬の念は深まります。また、それを展示することで、見た人に思い出への共感や興味を持っていただくことができます。その思い出はまさに人生のほんの小さな断片ですが、そこへの共感や関心はその人の人生そのものへの尊重に繋がるように思えるのです。



左京東部いきいき市民活動センター

市民活動を活性化するための事業運営・市民活動に関する相談・施設の貸出しをおこなっています。

- 施設の貸し出し
料金 (1時間)
会議室・和室：100円
集会室：200円
多目的ホール・料理室：500円
- 市民活動に関する相談
- 市民活動に関する情報公開
- 貸しロッカー (800円/月)

左京東部いきいき市民活動センター

〒606-8432 京都府京都市左京区鹿ヶ谷高岸町 3-2
TEL: 075-761-1385 / FAX: 075-752-3350
MAIL: info@se-ikiiki.com

URL: http://gekken.net/SE_IKIKI/
開館時間：10時～21時 (日曜日は17時まで)
休館日：火曜日・年末年始 (12/29～1/4)

※高齢者ふれあいサロンは10時～16時半
火曜日、日曜日及び年末年始が休館日です。

アクセス：京都市営地下鉄 蹴上駅より徒歩15分
バス停「東天王町」より徒歩5分

※駐車場はございませんので、公共交通機関もしくは最寄りのコインパーキングをご利用ください。

